



予防接種を受ける前に知っておきたいこと



<質問>

予防接種は、必ず受けなければならないのでしょうか？

新型コロナワクチンを受けることは、強制ではありません。

副反応や予防接種の効果を十分理解し、ご自分の判断で接種を決めていただくものです。

<質問>

今回予約しなかったら、その後は受けるチャンスは無いのでしょうか？

新型コロナワクチンの接種は、現時点ではR4年2月までとなっております。今回申し込みの無かった方については、11月以降の予約方法等について、個別にご案内いたします。

<質問>

ワクチン接種後に、熱が出たり、頭痛や腕の痛み、体がだるくなると聞きましたが本当ですか？

2月より先行接種した医療従事者の結果では、**接種した人の4割から5割に37.5℃以上の発熱や頭痛の症状が現れ、ほぼ全員に接種部位の痛み、7割の人に全身の倦怠感が現れています。**発熱は接種後1～2日以内に起こることが多く、解熱鎮痛剤を服用するなどして様子を見ていただくことになります。2日以上発熱が続く場合や症状が重い場合は、医療機関を受診して下さい。

<質問>

副反応が心配で、受けるかどうか悩んでいます。

接種直後に、急性アレルギー反応（アナフィラキシーショック）が起こる場合が稀にあります。薬や食品などで重いアレルギー症状を起こしたことがある方は、治療を受けた医師に相談して接種の有無を決めてください。

心臓病等の持病があり治療されている方も、主治医と相談して接種を決めてください。

また、同封しました「新型コロナワクチン接種のお知らせ」を読んで、ご不明な点がありましたら、裏面に記載した相談先へお問い合わせください。

<質問>

接種後に発熱して病院にかかりました。健康被害の救済制度の対象になりますか？

接種後の発熱など、一時的な副反応については「予防接種健康被害救済制度」の対象にないことが多く、予防接種を受けたことで病気を引き起こし、継続した治療が必要になったり、障がいを持ってしまった場合は対象になります。相談窓口は役場保健福祉課です。